



第11期(2010年3月期) 決算説明会

2010/07/08

modulat

モジュレ株式会社 (ヘラクレス : 3043)

<http://www.modulat.com/>

目次

◇ 2010年03月期の総括	・・・	3p
◇ 2011年03月期の見通し	・・・	4p
◇ 財務諸表:損益計算書	・・・	5p
◇ 財務諸表:貸借対照表	・・・	8p
◇ 財務諸表:キャッシュフロー計算書	・・・	9p
◇ 売上高の推移	・・・	10p
◇ 売上総損益の推移	・・・	11p
◇ 営業損益の推移	・・・	12p
◇ 当期純損益の推移	・・・	13p
◇ その他指標の推移	・・・	14p
◇ “つ良い企業”への課題	・・・	15p
◇ お問い合わせ	・・・	16p

2010年03月期の総括

減収増益、堅実にV字回復、利益率向上

景気悪化に伴う新規IT投資の抑制や繰延の中、本業集中による競争力の向上、コストの適正化効果を得て、黒字化を達成。決算期変更に伴う経過期間として10ヶ月決算であるが、営業利益で96百万円を計上。営業利益率も9.8%と高水準に回復。

ITサービス会社への回帰、継続サービスは増加

経済環境により当社としての競争力に乏しい商品販売は激減しているものの、ITサービス比率80%超と本業回帰を果たす。特に年間継続サービス契約額は8億円強と創業以来増加し過去最高額。サービス契約維持率も99%超と堅調。

過年度会計の誤処理の訂正、適正コストの維持

過年度の一部の固定資産の計上に間違いが発覚し、課徴金を科される。業務効率化、事業構造改革、資産や資本提携の整理などの施策により獲得したシンプルな資本構造・業務構造を維持し、ビジネススピードを上げる基礎を整備。

2011年03月期の見通し

堅実な収益構造を強化、将来への布石も

景気持ち直しも見えつつある現在、それに頼ることなく、現在の堅実な収益基盤をより強化し続ける。その上で、IT投資の再開等に伴う一過性ビジネスの収益は、今後10年を見据えた新しいサービス、次世代の人材育成などに徐々に投資し、将来への布石とする。

ITサービス、継続サービスへの更なる特化

競争力を維持しているITサービス、継続ITサービス契約の長期化、安定化、大型化に挑戦し続ける。特にお客様企業が今後求める新しいITサービスに積極的に取り組む計画。

経営体制の強化、より筋肉質な企業へ

経営体制の強化（取締役会の強化、監査役会の新設、会計監査人の設置、教育の拡充など）を行い、誤った会計処理等の再発防止や上場企業の社会的責任を果たす。シンプルな資本構造・業務構造を維持し、早期の復配を目指す。

財務諸表：損益計算書

(百万円)

	09/05期			10/03期			11/03期	
	実績	対前年比		実績	対前年比		予測	対前年比
売上高	1,381	68.4%		978	--		991	--
ITサービス	917	91.4%		785	--		826	--
商品	463	45.7%		192	--		165	--
売上総利益	284	65.4%		262	--		257	--
ITサービス	235	83.0%		239	--		232	--
商品	48	31.8%		23	--		25	--
販管費	274	85.6%		166	--		217	--
営業損益	9	8.7%		96	--		40	--
経常損益	-241	--		93	--		53	--
当期純損益	-459	--		57	--		53	--

*09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

*10/3期は、決算期変更のため、10ヶ月決算となっております。そのため、10/3期、11/3期の対前年比は記載を省略しております。

- ◆ ITサービスは堅調 : 継続ITサービスは堅調に維持拡大を続ける。
- ◆ コスト適正化計画の効果 : 不要なコストをカットした結果、利益率が向上。
- ◆ 高利益体質へ : 収益構造の改善を続け、営業利益率の更なる向上を目指す。

財務諸表：(ご参考)損益計算書 10/03期 同期間比較

(百万円)

	09/03期		10/03期	
	実績(参考・10ヶ月)		実績	対前年比
売上高	1,202		978	81.4%
ITサービス	762		785	103.0%
商品	439		192	43.7%
売上総利益	235		262	111.5%
ITサービス	185		239	129.2%
商品	50		23	46.0%
販管費	242		166	68.6%
営業損益	-6		96	--
経常損益	-259		93	--

*09/3期実績(参考)の数値は、2008年6月～2009年3月累計期間(10ヶ月)の月次試算表を元にした数値であり、監査法人による監査を受けておりません。

- ◆ ITサービスは順調に増加し、利益率も向上。商品は減少。
- ◆ 販管費は、コスト適正化計画の効果により減少し、利益計上に貢献。
- ◆ 結果、売上減にも関わらず、利益計上できる事業構造に変化。

財務諸表：(ご参考)損益計算書 11/03期 同期間比較

(百万円)

	10/03期	11/03期	
	実績(参考・12ヶ月)	予測	対前年比
売上高	1,157	991	85.7%
ITサービス	940	826	87.9%
商品	216	165	76.4%
売上総利益	310	257	82.9%
ITサービス	277	232	83.8%
商品	32	25	78.1%
販管費	198	217	109.6%
営業損益	112	40	35.7%
経常損益	111	53	47.7%

*10/3期実績(参考)の数値は、2009年4月～2010年3月累計期間(12ヶ月)の月次試算表を元にした数値であり、監査法人による監査を受けておりません。

- ◆ 売上減の予測。商品の減少が進むことと一過性のITサービスの減少による。
- ◆ 引続きコスト適正化計画を進めるが、総利益率は若干減。
- ◆ 総利益の減と販管費の若干増により、営業利益率は下がる見込み。

財務諸表：貸借対照表

	10/03期		09/05期	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	334	32.9	480	38.2
現預金	65	6.5	247	19.7
売掛金	83	8.2	78	6.2
たな卸資産*	123	12.1	118	9.5
その他	62	6.1	35	2.8
固定資産	682	67.1	777	61.8
有形固定資産	322	31.7	366	29.1
(減価償却累計額)	-231		-195	
無形固定資産	70	6.9	80	6.4
投資その他の資産	289	28.5	331	26.3
総資産	1,016	100.0	1,257	100.0

*たな卸資産には、リース投資資産を含む。
*09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

(百万円)

	10/03期		09/05期	
	金額	構成比	金額	構成比
流動負債	409	40.3	656	52.2
買掛金	39	3.9	48	3.9
1年内返予長借	175	17.3	166	13.2
前受金	111	11.0	330	26.3
その他	82	8.1	111	8.8
固定負債	459	45.2	501	39.9
負債合計	868	85.5	1,158	92.1
純資産	147	14.5	99	7.9
資本金・資本剰余金	408	40.2	408	32.5
利益剰余金 他	-260	-25.6	-308	-24.5
負債純資産 合計	1,016	100.0	1,257	100.0

- ◆ 決算期変更の影響による前受金の減少等により、流動資産及び流動負債が減少。
- ◆ 当期純利益の計上により、純資産が増加。

財務諸表：キャッシュフロー計算書

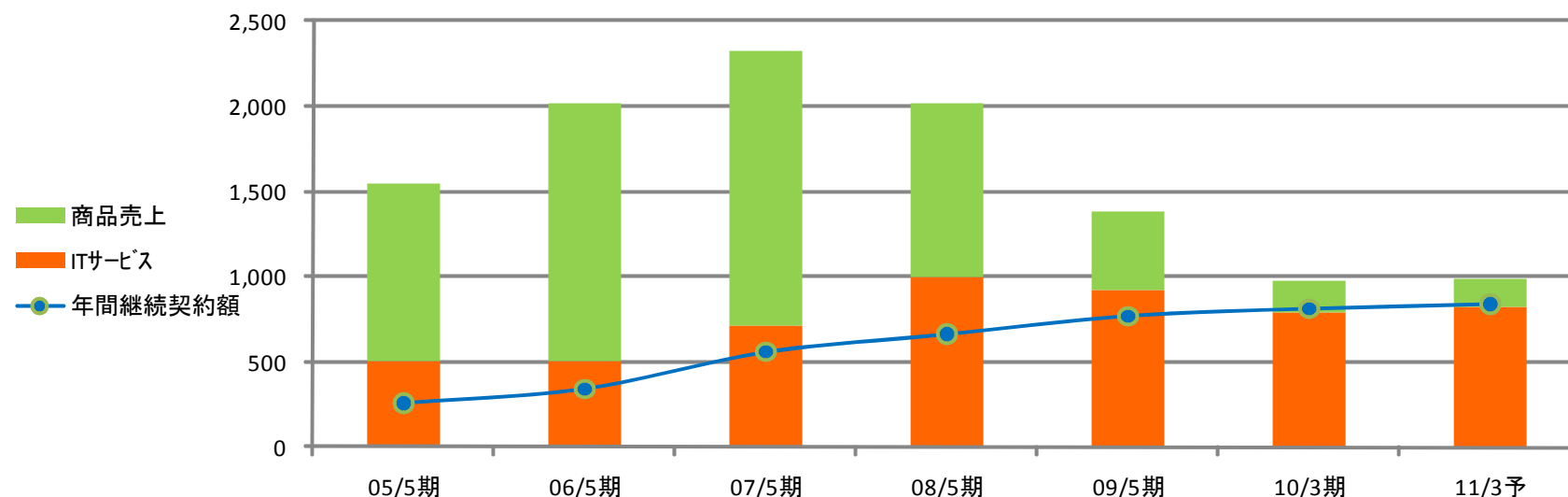
(百万円)

区 分	10/03期	09/05期
営業キャッシュ・フロー	-158	273
投資キャッシュ・フロー	10	-468
財務キャッシュ・フロー	-33	6
現金及び現金同等物の期末残高	65	247

*09/05期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

- ◆ 営業キャッシュ・フロー : 役員退職慰労引当金の減少、前受金の減少等により使用
- ◆ 投資キャッシュ・フロー : 敷金および保証金による収支等により獲得
- ◆ 財務キャッシュ・フロー : 長期借入金による収支等により使用

売上高の推移



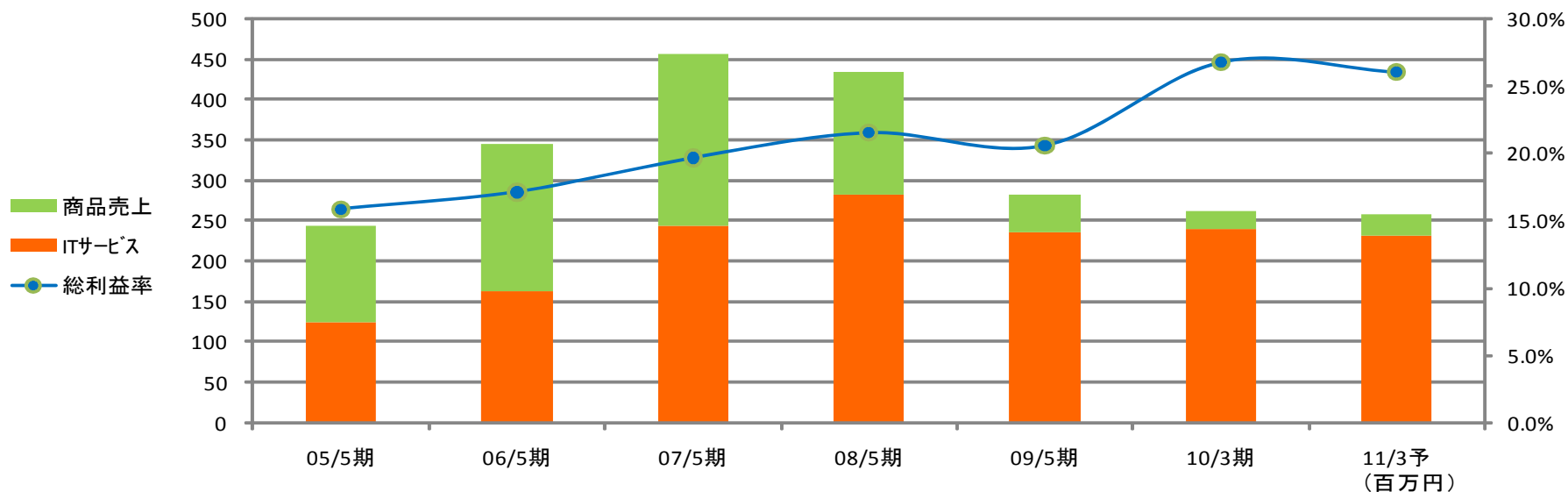
	05/5期	06/5期	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3予
合計	1,550	2,021	2,330	2,017	1,381	978	991
ITサービス	509	506	710	1,003	917	785	826
商品売上	1,040	1,515	1,620	1,013	463	192	165

年間継続契約額 258 343 558 663 771 813 840

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 10/3期 : 商品売上は引続き減少、継続ITサービスは好調を維持。
- ◆ 11/3期 : 商品売上は更に減少。一過性のITサービスは減だが、継続ITサービスは堅調。

売上総損益の推移



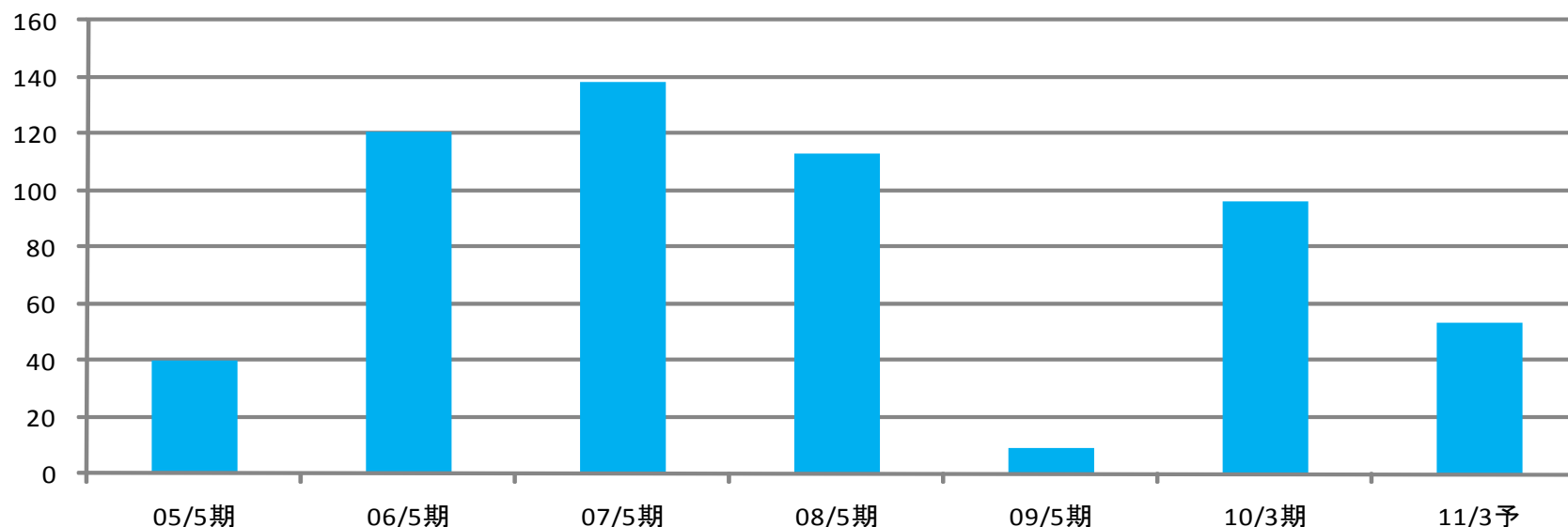
合計	244	346	458	434	284	262	257
	05/5期	06/5期	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3予
ITサービス	125	163	243	283	235	239	232
商品売上	119	182	214	151	48	23	25
総利益率	15.8%	17.1%	19.7%	21.5%	20.6%	26.8%	26.0%

*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 10/3期 : コスト適正化計画が寄与し、総利益率は改善傾向。(20.6%→26.8%)
- ◆ 11/3期 : 売上減(前期は10ヶ月)により、総利益率は若干低下。

営業損益の推移



(百万円)

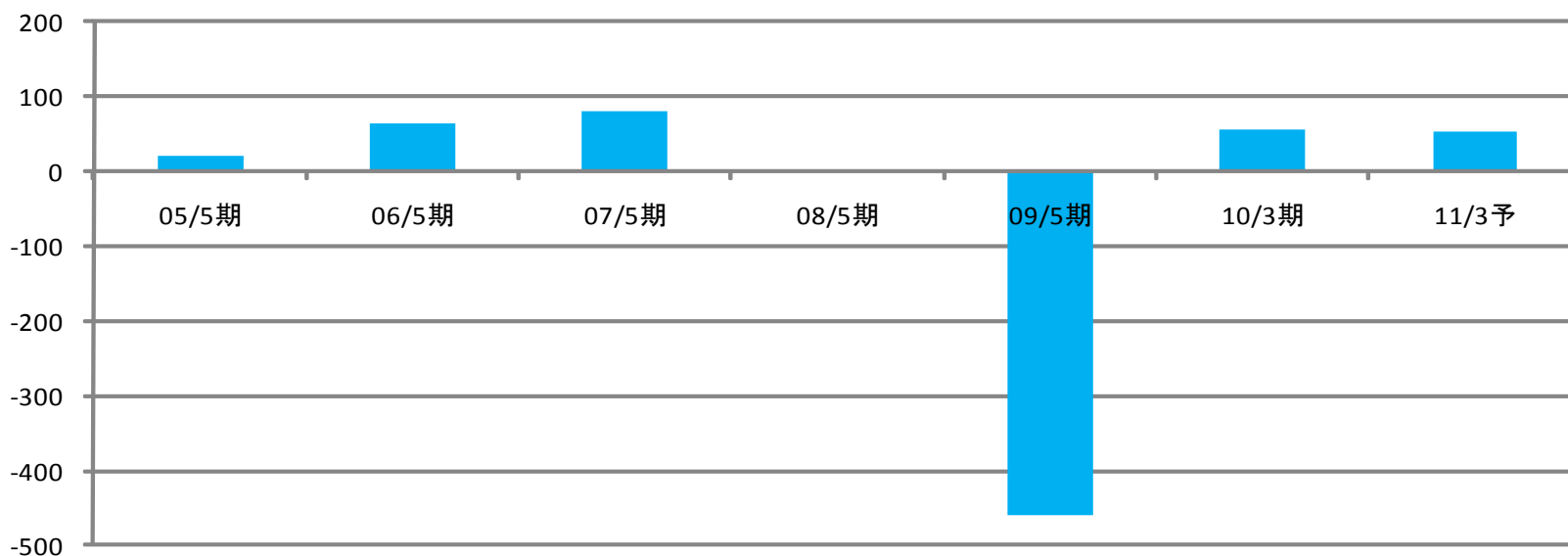
	05/5期	06/5期	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3予
営業損益	40	121	138	113	9	96	53
営業利益率	2.6%	6.0%	6.0%	5.6%	0.7%	9.8%	4.0%

*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 10/3期 : 総利益の確保とコスト適正化計画による販管費減により、営業利益計上。
- ◆ 11/3期 : 総利益の減と販管費の若干増により営業利益減。

当期純損益の推移



(百万円)

	05/5期	06/5期	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3予
当期純損益	21	64	81	1	-459	57	53
純利益率	1.4%	3.2%	3.5%	0.1%	—	5.9%	5.4%

*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 10/3期 : 業務／コスト効率向上により黒字化(V字回復)達成。
- ◆ 11/3期 : 営業利益と同様の理由により、当期純利益減。

その他指標の推移

	01/5期	02/5期	03/5期	04/5期	05/5期	06/5期	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3予
顧客数(社)	13	16	23	28	28	35	51	69	69	67	70
対前年	--	--	43.8%	21.7%	0.0%	25.0%	45.7%	35.3%	0.0%	-2.9%	4.5%
年間継続 契約額(百万円)	--	--	--	217	258	343	558	663	771	813	840
対前年	--	--	--	--	18.9%	32.9%	62.7%	18.8%	16.3%	5.4%	3.3%
社員数(人)	10	17	24	30	32	36	52	50	41	41	43
対前年	--	70.0%	41.2%	25.0%	6.7%	12.5%	44.4%	-3.8%	-18.0%	0.0%	4.9%
経常利益率	-1.3%	2.9%	3.5%	2.0%	2.6%	5.5%	6.2%	2.3%	-17.5%	9.5%	5.4%
EPS(円)	-1,924.24	1,131.69	4,893.05	1,574.06	2,720.13	6,853.98	5,970.68	84.99	-33,552.62	4,191.93	3,883.64
配当性向	—	—	4.2%	20.0%	20.0%	16.4%	24.8%	1322.5%	—	—	—

*08/5期、09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

- ◆ 顧客数は、一過性ビジネスの顧客が減少したため微減したが、11/3期は微増の見込み。
- ◆ 年間継続契約額は着実に増加する見込みで、長期的な安定に寄与。
- ◆ 10/3期の経常利益率は過去最高を記録。11/3期は低下の見込みだが、コスト適正化計画を継続し、収益構造の改善を続ける。
- ◆ 利益を着実に積み重ね、早期復配を目指す。

“つ良い企業”への課題

事業基盤の堅実な拡大

中長期的には事業規模の拡大には多くのメリットがあり、周辺事業に対し入念な調査・テストを行い事業領域の追加を検討中。営業エリアの拡大も検討。業務提携もゼロからの再開を計画中。

コンシェルジェ育成土壌と利用技術研究への挑戦

単能工的技術者をサービス標準化で多能工へ、そして個別企業ニーズに対応可能なエージェントへ育成する仕組み、利用技術を趣味的ワークや属人生から切り離して事業領域化する為の研究、などと、その為の土壌創りを開始予定。

サービス資産の有効活用、ITの極限利用で、堅実配当を

増加するITサービス用資産を効果的に収益にする長期利用ノウハウで財務基盤を安定させ、また、全お客様・全社員がITスキル保有者である特殊性を利用した効率化や働き易い環境創りで、堅実な収益のみをベースとした高配当性向企業を目指す。

お問い合わせ

【 I R 窓 口 】

ストラテジック プランニング サービス

E - mail : ir@modulat.com

Tel : 03-3556-2461

Fax : 03-3556-2462

<http://www.modulat.com/>



<本資料お取扱い上のご注意>

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。